

## 久我山だより

令和6年1月9日

杉並区立久我山小学校

電話(3331)3631 FAX(3247)8415

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/kugayamashou/>

## みんなのしあわせを創るには

～CS委員と6年児童との懇談会～

校長 小原 潤

## 新年あけまして おめでとうございます

先月、学校運営協議会委員（CS委員）のみなさんと6年生児童とで懇談会を行いました。この懇談会は、CS委員のみなさんに子どもたちの生の声を聴いてもらうために毎年行っているものです。今回は「みんなのしあわせを創るには」というテーマで行いました。

「みんなのしあわせを創る」は、杉並の教育の基本的な考え方を示した「杉並区教育ビジョン2022」のキーコンセプトとなっている言葉です。教育ビジョンでは、「創る」主体は、子どもも大人も全ての人とされており、特に「子どもの思いを尊重する」と明記されています。

当日は、6年生全体を6つのグループに分け、そこに1名ずつCS委員の方に入っていました。話し合いの様子をみなさんにも紹介します。

CS委員：「みんなのしあわせ」とはどういうことだと思いますか。

児童A：しあわせというのは、それぞれが自分の好きなことができるということだと思います。

児童B：誰かに何かを押し付けられるのでは、しあわせではなくなってしまう。違いを認めることが大切だと思う。

児童C：外国での戦争の様子を見て、衣食住がちゃんとしないとしあわせとは言えないと思った。

児童D：差別をされないことも大切だと思う。

児童E：総合の学習でやったように「無意識の差別」ということでも、つらい思いをしている人がある。

CS委員：では、「みんなのしあわせ」を創るために、自分ができることはどんなことだと思いますか。

児童F：苦しんでいる人のために、募金をしたり、ポスターなどでみんなに呼び掛けたりすることは私たちにもできると思う。

児童G：しあわせは人によってさまざまだから、それを否定しないようにしたい。できるだけ認めていきたい。

児童H：いろいろな人と話し合っ、理解し合えるように努力していきたい。

児童I：支え合っ、みんなが笑顔にしていきたい。

懇談後のCS委員の方々との話し合いでは、「6年生がとてもよく考えているのでとても感心した」「久我山小の先生方が2年がかりで取り組んできた人権教育がしっかりと定着していると感じた」「たいへん頼もしく、誇らしい6年生だと感じた」などの意見が出されました。

人は誰もが「しあわせになりたい」という願いをもっています。誰もが自分らしく生きることがするために、自分自身ができることは何かを、子どもも大人も共に考えていくことが大切であると教えてくれた懇談会でした。

## 1月の生活目標

## 気持ちのよいあいさつをしよう

「明けましておめでとうございます」新年のあいさつは気持ちのよいものです。これから新しい年が始まるという期待で、自然と晴れやかな気持ちになります。毎日のあいさつも同じように、あたたかく、気持ちのよいあいさつを心掛けたいです。気持ちのよいあいさつとは、どんなものなのでしょう。

- ① 「明るく元気がいい」・・・元気なあいさつは、やる気を高めます。
- ② 「丁寧な」・・・優しい声や丁寧な言葉からは、その人の気持ちが伝わります。
- ③ 「相手より早い」・・・自分より早くあいさつしてくれたという印象は、心に残ります。

毎日のあいさつが、お互いに気持ちよくできるよう、学校でも日々言葉を掛けていきます。

(生活指導委員会 橋内 柚季)